

ユーザ・マニュアル

Tektronix

650-A839-50型
IEEE 1394 TS インタフェース
070-A821-50

本マニュアルはファームウェア・バージョン
1.0以降に対応しています。

www.tektronix.com

Copyright © Tektronix Japan, Ltd. All rights reserved.

当社の製品は、米国その他各国における登録特許および出願中特許の対象となっています。本書の内容は、すでに発行されている他の資料の内容に代わるものです。また製品仕様は、予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。

日本テクトロニクス株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 5-9-31

Tektronix、Tek は Tektronix, Inc.の登録商標です。

また、本マニュアルに記載されている、その他の全ての商標は、各社所有のものです。

安全にご使用いただくために

安全にご使用いただくため、機器をご使用になる前に、次の事項を必ずお読みください。

人体保護における注意事項

適切な電源コードの使用

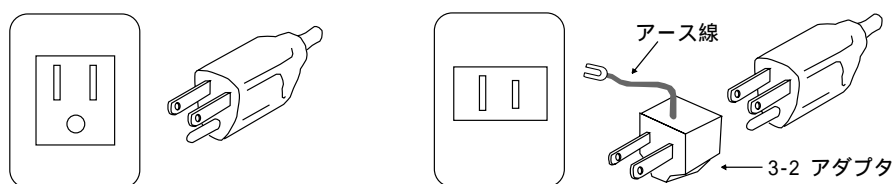
発火などの恐れがありますので、指定された電源コード以外は、使用しないでください。

過電圧の保護

感電または発火などの恐れがありますので、コネクタに指定範囲外の電圧を加えないでください。

適切な接地

本機器は、アース線付きの3線式電源コードを通して接地されます。感電を避けるために、必ずアース端子のあるコンセントに差し込んでください。3-2アダプタを使用して2線式電源に接続する場合も、必ずアダプタのアース線を接地してください。



キャビネットやカバーの取り外し

機器内部には高電圧の箇所がありますので、カバーやパネルを取り外したまま使用しないでください。

機器が濡れた状態での使用

感電の恐れがありますので、機器が濡れた状態で使用しないでください。

ガス中での使用

発火の恐れがありますので、爆発性ガスが周囲に存在する場所では使用しないでください。

機器保護における注意事項

電 源

本機器は、90～250 V の AC 電源電圧、48～63 Hz の電源周波数で使用できます。適正な電源の詳細は、本マニュアルの「仕様」を参照してください。コンセントに接続する前に、電源電圧が適切であることを確認してください。また、指定範囲外の電圧および周波数を加えないでください。

機器の放熱

本機器が過熱しないよう、十分に放熱してください。

故障と思われる場合

故障と思われる場合は、必ず販売店または当社サービス受付センターまでご連絡ください。

修理と保守

修理・保守は、当社サービス員だけが行えます。修理が必要な場合には、最寄りの販売店または当社サービス受付センターにご相談ください。

用語とマークについて

- マニュアルに使用されている用語およびマークの意味は次のとおりです。



警告：人体や生命に危害をおよぼす恐れのある事柄について記してあります。



注意：取り扱い上の一般的な注意事項や本機器または他の接続機器に損傷をおよぼす恐れのある事柄について記してあります。

注：操作を理解する上での情報など、取り扱い上の有益な情報について記してあります。



静電気に対して注意が必要な部分について記してあります。



取り扱い上の注意、警告、危険を示しています。

- 機器に表示されている用語およびマークの意味は次のとおりです。

DANGER : ただちに人体や生命に危害をおよぼす危険があることを示しています。

WARNING : 間接的に人体や生命に危害をおよぼす危険があることを示しています。

CAUTION : 機器および周辺機器に損傷をおよぼす危険があることを示しています。



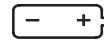
高電圧箇所です。
絶対に手を触れな
いでください。



保護用接地端子
を示します。



注意、警告、危険
を示す箇所です。
内容については、
マニュアルの該当
箇所を参照してく
ださい。



バッテリーの取り扱
いについては、マ
ニュアルの該当箇
所を参照してくだ
さい。

目次

安全にご使用いただくために	i
目次	v
図一覧	vi
表一覧	vi

第1章 はじめに

はじめに	1-1
製品概要	1-1
初期検査	1-2
アクセサリ	1-2
機器の設置と電源の接続	1-2
ソフトウェアの PC へのインストール	1-3

第2章 基本操作

基本操作	2-1
フロント・パネル	2-1
リア・パネル	2-1
TS Setup の機能	2-2
チュートリアル	2-4

付録

付録 A 仕様	A-1
仕様条件	A-1
電気特性	A-1
機械特性	A-2
環境特性	A-2
規格と承認	A-3

付録 B その他	B-1
再梱包	B-1
クリーニング	B-1

索引

保証規定、お問い合わせ、その他

図一覧

図 1-1 : TS インタフェース接続例	1-1
図 1-2 : リア・パネルの電源コード・コネクタ	1-3
図 2-1 : フロント・パネル	2-1
図 2-2 : リア・パネル	2-1
図 2-3 : 1394 TS Setup のコントロール・ウィンドウ	2-3
図 2-4 : チュートリアルのための機器の接続	2-5
図 2-5 : MPEG アナライザに表示された TS データ	2-6

表一覧

表 1-1 : スタンダード・アクセサリ	1-2
表 A-1 : IEEE 1394 インタフェース	A-1
表 A-2 : ASI 入／出力	A-1
表 A-3 : AC 電源	A-1
表 A-4 : 機械特性	A-2
表 A-5 : 環境特性	A-2
表 A-6 : 規格と承認	A-3

第1章 はじめに

はじめに

この章では、次の項目について説明します。

- 製品概要
- 初期検査
- アクセサリ
- 機器の設置と電源の接続
- ソフトウェアの PC へのインストール

製品概要

650-A839-50 型 IEEE 1394 TS インタフェースは、IEEE 1394 高速シリアル・バスのアイソクロナス (Isochronous) 信号からトランスポート・ストリーム (TS) データを取り出し、ASI 信号として出力する機器です。3 系統の IEEE 1394 コネクタ (6 ピン) を備えており、付属のアプリケーション・ソフトウェアを使用して、データの転送元/転送先デバイスの切り替えやデータの取り込みをコントロールすることができます。

図 1-1 に、TS インタフェースの接続例を示します。

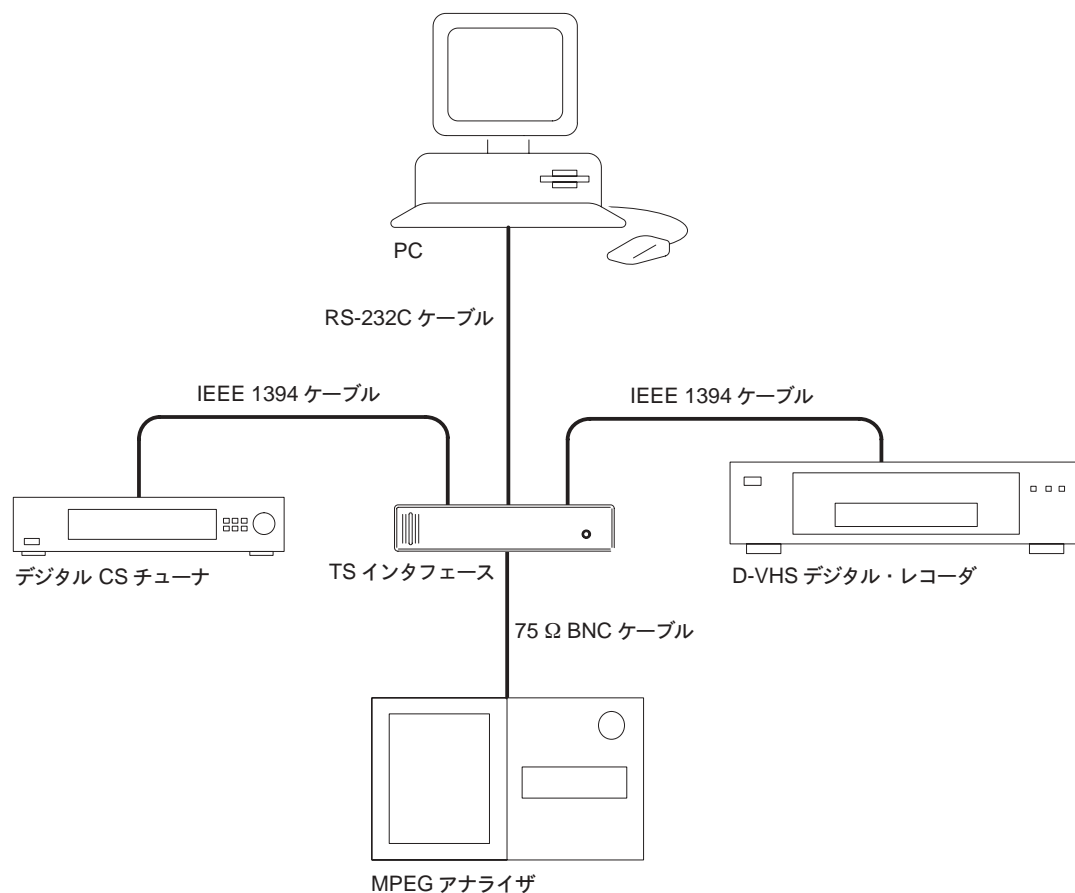


図 1-1 : TS インタフェース接続例

注：本機器には、CE マークが貼付されていません。したがって、欧州への輸出はできませんのでご注意ください。

初期検査

パッケージから本機器を取り出し、輸送による損傷がないことを確認してください。また付属品がすべて揃っていることを確認してください。付属品については、次の「アクセサリ」を参照してください。

注：カートンや包装材料は再梱包などに備えて、保管することをお勧めします。

アクセサリ

表 1-1 に、TS インタフェース のスタンダード・アクセサリを示します。

表 1-1：スタンダード・アクセサリ

アクセサリ名	当社部品番号
650-A839-50 型 IEEE 1394 TS インタフェース・ユーザ・マニュアル (和文)	070-A821-XX
1394 TS Setup アプリケーション・フロッピ・ディスク (Disk 1 および Disk 2)	062-A266-XX
RS-232C クロス・ケーブル (D-sub 9 ピン、オス-メス)	012-A219-XX
電源コード 125 V / 6 A	161-A013-XX

機器の設置と電源の接続

TS インタフェースに電源を投入する前に、必ず、このマニュアルの「安全にご使用いただくために」に記載されている安全に関する注意事項をお読みください。

ここでは、TS インタフェースの設置と電源の接続について説明します。

1. 動作環境が適切であることを確認します。本機器は、周囲温度が +5℃ ~ +40℃、相対湿度が 20% ~ 80% の範囲で正常に動作します。その他の動作環境については、「付録 A 仕様」の環境特性を参照してください。
2. 本機器に電源を投入する前に、空気取り込み孔の近くに空気の流れの障害になる物がないことを確認します。
3. 使用する電源を確認します。本機器は、電源電圧 90 V ~ 250 V、電源周波数 48 Hz ~ 63 Hz の範囲で動作します。

本機器の出荷時には、通常 115 V 系専用の電源コードが付属しています。この電源コードは、電気用品取締法の認可を受けています。



注意：TS インタフェースには電源スイッチがありません。電源コードを電源に接続すると、すぐに電源が供給されます。ご使用にならないときは、電源遮断のため電源コードを外してください。

- 適切な電源コードで、リア・パネルの電源コード・コネクタと電源を接続します (図 1-2 参照)。

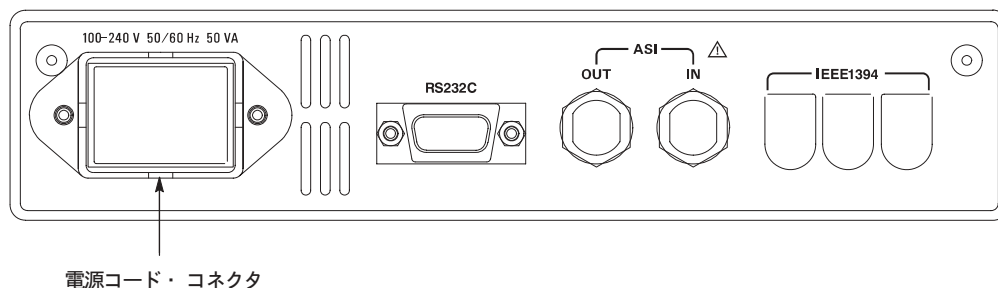


図 1-2：リア・パネルの電源コード・コネクタ

ソフトウェアの PC へのインストール

TS インタフェースには、Windows ベースのアプリケーション・ソフトウェア 1394 TS Setup が付属しています。1394 TS Setup を使用すると、TS データを取り込む際のデータ転送元デバイスやデータ転送先デバイスを選択したり、TS データの取り込みを指定したりすることができます。ここでは、1394 TS Setup を PC にインストールする手順について説明します。

動作環境

1394 TS Setup を動作させるには、次の環境が必要です。

- Windows 95/98/2000/NT 搭載の PC

インストール手順

1394 TS Setup のインストールには、Windows の基本操作およびコマンドの知識が必要になります。必要な場合は、次の手順を実行する前に、Windows に付属のマニュアルで確認してください。

1394 TS Setup は、2 枚のフロッピー・ディスクで供給されます。次に、1394 TS Setup を PC にインストールする手順を示します。

- PC を起動します。
- 1394 TS Setup** の 2 枚のフロッピー・ディスクのうち、**Disk 1** と記されたディスクを PC のフロッピー・ディスク・ドライブに挿入します。
- A:** **ドライブ・アイコン**をダブル・クリックします (使用している フロッピー・ディスク・ドライブが A: 以外のドライブの場合は、A をそのドライブ名に置き換えてください)。

この操作で、フロッピ・ディスクの内容が表示されます。

4. **Setup.exe** アイコンをダブル・クリックします。

この操作で、初期化ファイルがコピーされます。

5. “Please insert disk2.” と記されたダイアログ・ボックスが表示されたら、Disk 2 のフロッピ・ディスクに入れ替え、**OK** ボタンを押します。
6. “Please insert disk1.” と記されたダイアログ・ボックスが表示されたら、Disk 1 のフロッピ・ディスクに入れ替え、**OK** ボタンを押します。

注：フロッピ・ディスクを入れ替える回数は、使用している PC により異なることがあります。

“Welcome to the 1394 Ts Setup installation program.” と記されたウィンドウが表示されます。

7. 表示される情報を読んだ後、**OK** ボタンをクリックします。

“Begin the installation by clicking the button below.” と記されたウィンドウが表示されます。このウィンドウには、1394 TS Setup プログラムがインストールされるディレクトリが表示されます。インストール先を変更する場合には、**Change Directory** ボタンをクリックし、ディレクトリを指定します。

8. PC の描かれているボタンをクリックして、インストールを開始します。

Choose Program Group ウィンドウが表示されます。このウィンドウでは、1394 TS Setup がインストールされるプログラム・グループを選択できます。新しいグループ名に変更する場合は、グループ名を入力するか、またはグループ・リストの中から選択します。

9. **Continue** ボタンをクリックします。

インストールが完了すると、“1394 TS Setup was completed successfully.” と記されたダイアログ・ボックスが表示されます。

10. **OK** ボタンをクリックします。

以上で、プログラムのインストールは完了です。

ショートカットの作成

デスクトップ上に 1394 TS Setup のショートカットを作成しておくと、このショートカット・アイコンをダブル・クリックするだけで、簡単にプログラムを起動することができます。次に、ショートカットの作成手順を示します。

11. デスクトップ上で、マウスの右ボタンをクリックし、メニューを開きます。

12. **新規作成からショートカット**を選択し、「ショートカットの作成」ダイアログ・ボックスを開きます。

13. 参照ボタンをクリックし、リスト・ボックス内で、**Program Files、1394 TsSetup**の順にフォルダを開きます (デフォルトのディレクトリ設定を使用している場合)。
14. **1394TsSetup.exe** を選択した後、**開く** ボタンをクリックします。コマンドライン入力フィールドに **1394TsSetup.exe** が表示されます。
15. **次へ** ボタンをクリックします。
16. ショートカットの名前を指定するためのダイアログ・ボックスが表示されます。デフォルト名以外の名前を使用する場合は、その名前を入力します。
17. **完了** ボタンをクリックして、ショートカットの作成を終了します。

デスクトップに、1394TsSetup.exe ショートカット・アイコンが現れます。このアイコンをダブル・クリックすると、1394 TS Setup が起動します。

第 2 章 基本操作

基本操作

このセクションでは、次の項目について説明します。

- フロント・パネルおよびリア・パネルの各部の名称とその機能
- 1394 TS Setup の機能
- チュートリアル

フロント・パネル

図 2-1 に、フロント・パネルを示します。

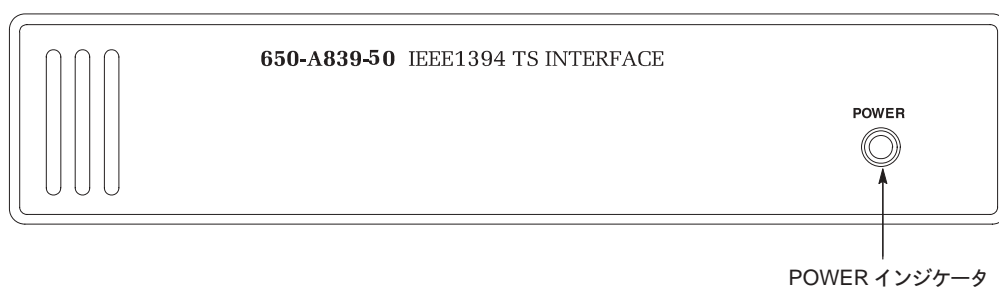


図 2-1 : フロント・パネル

POWER インジケータ

電源がオンになっている場合に点灯します。

リア・パネル

図 2-2 に、リア・パネルを示します。

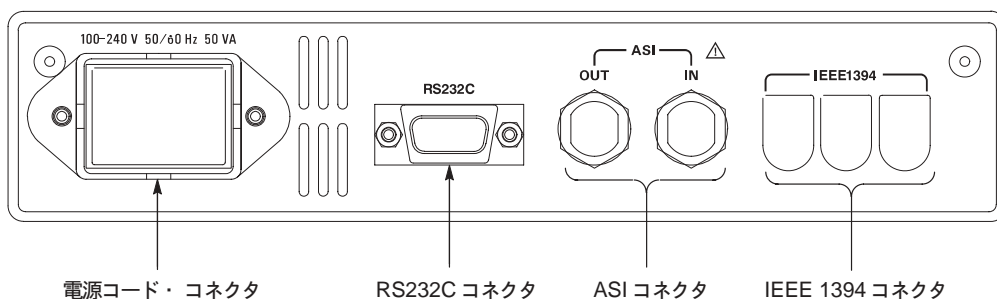


図 2-2 : リア・パネル

電源コード・コネクタ

付属の電源コードを接続します。電源は、電圧範囲 90 V ~ 250 V、周波数範囲 48 Hz ~ 63 Hz の AC 電源を使用してください。

RS232C コネクタ

付属の RS-232C クロス・ケーブルを使用して、PC を接続します。

ASI OUT コネクタ

アイソクロナス 信号から抽出された TS データを ASI (Asynchronous Serial Interface) フォーマットで出力します。ASI 入力を持つ MPEG アナライザなどに接続します。

ASI IN コネクタ

現在のファームウェア・バージョン (1.0) では、サポートされていません。

IEEE 1394 コネクタ

6 ピンの IEEE 1394 コネクタです。i.LINK (IEEE 1394) コネクタを持つデジタル CS チューナや D-VHS デジタル・レコーダなどに接続します。

1394 TS Setup の機能

1394 TS Setup は、PC 上で TS インタフェースの設定をコントロールするためのソフトウェアで、次の機能を実行します。

- TS インタフェースに接続されているデバイス名および ID の表示
- データ転送元デバイスおよびデータ転送先デバイスの選択
- TS データの取り込み
- 使用するコミュニケーション・ポートの選択

ここでは、1394 TS Setup のアプリケーション・ウィンドウの各機能について説明します。

1394 TS Setup のインストールについては、1-3 ページの「ソフトウェアの PC へのインストール」を参照してください。

コントロール・ウィンドウの機能

1394 TS Setup の操作は、アプリケーション起動後に表示されるコントロール・ウィンドウにより行います。図 2-3 に、IEEE 1394 TS Setup のコントロール・ウィンドウを示します。

図に続いて、コントロール・ウィンドウ内のメニュー、フィールド、コントロール・ボタン、およびインジケータの機能について説明します。

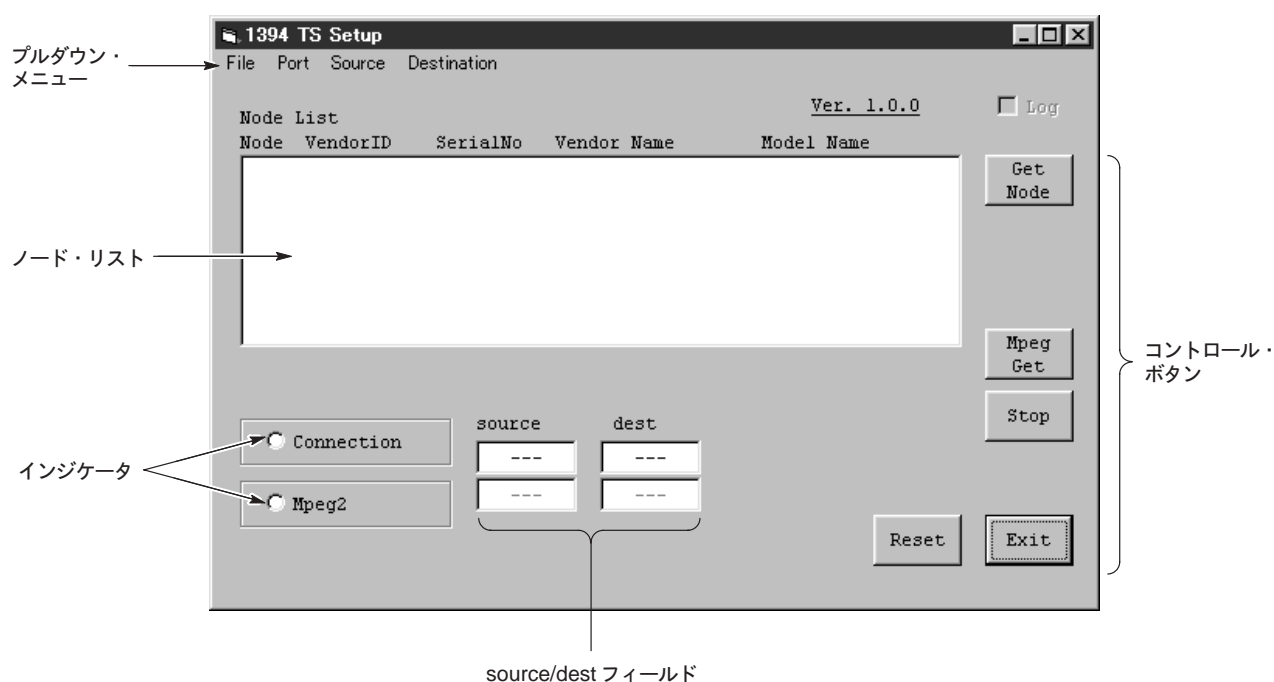


図 2-3 : 1394 TS Setup のコントロール・ウィンドウ

プルダウン・メニュー

- **File** : ファイル・メニューには、Exit コマンドのみがあります。アプリケーションを終了します。
- **Port** : PC のコミュニケーション・ポートを指定します。
- **Source** : データ転送元のデバイス (ソース・デバイス) を指定します。このメニューで指定されたデバイスの ID は、source フィールドに表示されます。
- **Destination** : データ転送先のデバイス (デスティネーション・デバイス) を指定します。このメニューで指定されたデバイスの ID は、dest フィールドに表示されます。

ノード・リスト

現在 TS インタフェースに接続されているデバイス名を表示します。このリストは、アプリケーション起動時に自動的に表示されます。また、Get Node ボタンを押すと、最新の情報に更新されます。

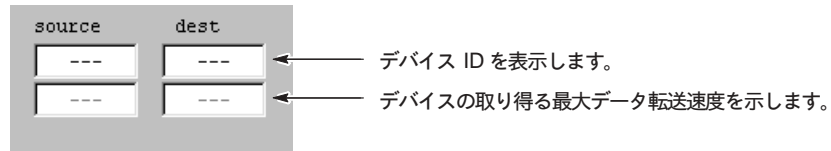
コントロール・ボタン

- **Get Node** : TS インタフェースに接続されているデバイス情報を更新します。
- **Mpeg Get** : ソース・デバイスからデスティネーション・デバイスへ転送されている TS データを TS インタフェースに取り込み、ASI OUT コネクタから出力します。
- **Stop** : TS データの取り込みを中止します。
- **Reset** : アプリケーションを起動直後の状態に戻します。
- **Exit** : アプリケーションを終了します。

インジケータ

- **Connection** : ソース・デバイスとデスティネーション・デバイス間にデータ転送の設定が行われている場合に、黒色の表示になります。
- **Mpeg2** : TS インタフェースが TS データを取り込み、ASI OUT コネクタからデータを出力している場合に黒色の表示になります。

source/dest フィールド



- **source** : ソース・デバイスの ID とそのデバイスの取り得る最大データ転送速度を示します。
- **dest** : デスティネーション・デバイスの ID とそのデバイスの取り得る最大データ転送速度を示します。

チュートリアル

このサブセクションでは、TS インタフェースに IEEE 1394 インタフェースを持つ機器を接続し、TS データを取り込む手順について説明します。

TS インタフェースを使用して TS データを取り込むには、付属のアプリケーション・ソフトウェア 1394 TS Setup をあらかじめ PC にインストールしておく必要があります。インストールの手順については、1-3 ページの「ソフトウェアの PC へのインストール」を参照してください。

必要な機器

チュートリアルを実行するには、次の機器が必要です。

- 1394 TS Setup をインストールした PC
- D-VHS デジタル・レコーダ
- デジタル CS チューナまたは BS デジタル・ハイビジョン・チューナ
- MPEG アナライザ (例 : 当社 MTS300型)
- RS-232C ケーブル ×1
- 75 Ω BNC ケーブル ×1
- IEEE 1394 ケーブル ×2

手順

次に、TS データを取り込む手順について示します。

1. 次のように、各機器を接続します。図 2-4 を参照してください。
 - a. 付属の RS-232C クロス・ケーブルを使用し、TS インタフェースの RS232C ポートと PC のシリアル・ポートを接続します。
 - b. IEEE 1394 ケーブルを使用し、TS インタフェースの IEEE 1394 コネクタとデジタル CS チューナの i.LINK コネクタを接続します。
 - c. IEEE 1394 ケーブルを使用し、デジタル CS チューナの i.LINK コネクタと D-VHS デジタル・レコーダの i.LINK コネクタを接続します。
 - d. 75 Ω BNC ケーブルを使用し、TS インタフェースの ASI OUT コネクタと MPEG アナライザの Ch1 In コネクタを接続します。

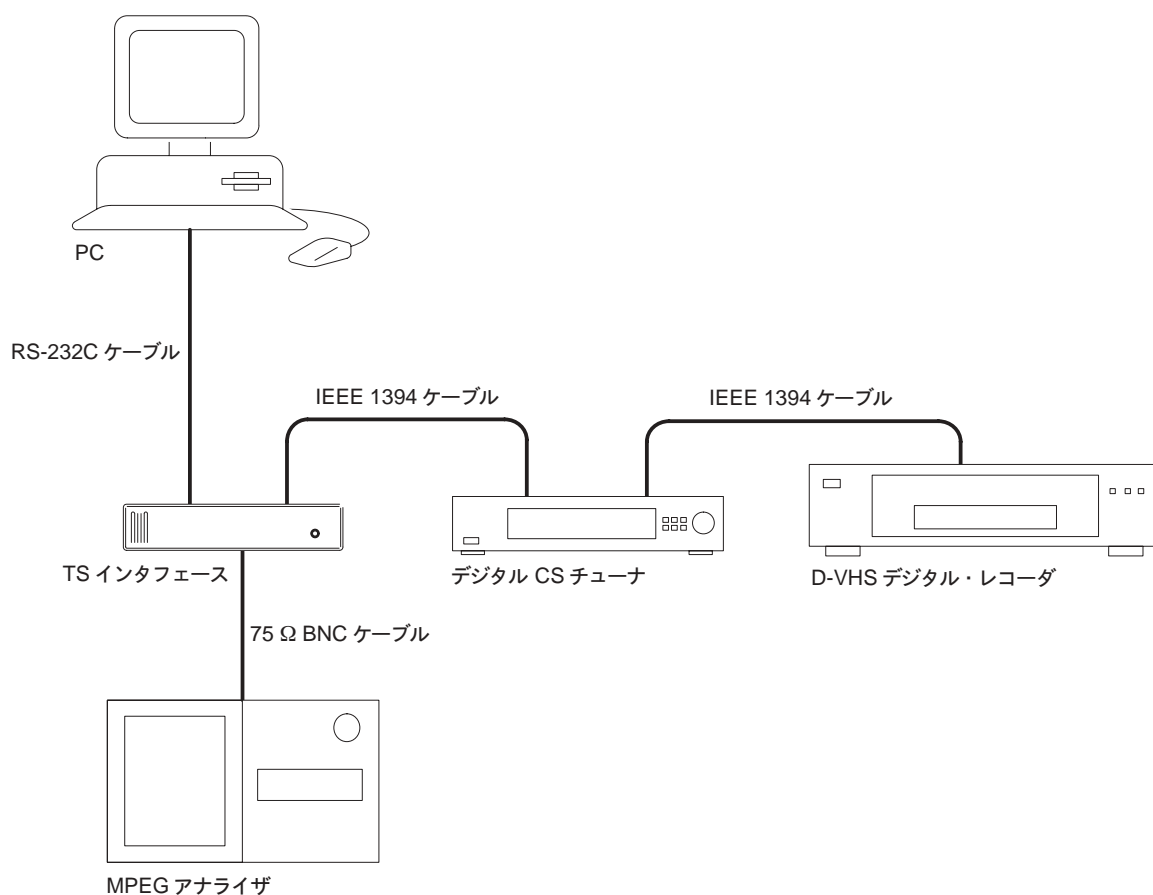


図 2-4 : チュートリアルのための機器の接続

2. すべての機器の電源をオンにします。
3. デジタル CS チューナと D-VHS デジタル・レコーダの i.LINK の設定を確認します。

4. PC のデスクトップ上で、1394TsSetup.exe ショートカットをダブル・クリックし、1394 TS Setup アプリケーションを起動します。

PC のディスプレイに、1394 TS Setup のコントロール・ウィンドウが表示されます。Node List フィールドには、IEEE 1394 インタフェース・バスで接続されている3つのデバイスの情報がリストされます。

5. Source プルダウン・メニューをクリックし、表示されるリストから D-VHS デジタル・レコーダを選択します。

この操作で、データの転送元デバイスが D-VHS デジタル・レコーダに設定され、source フィールドに D-VHS デジタル・レコーダの ID が表示されます。

6. Destination プルダウン・メニューをクリックし、表示されるリストからデジタル CS チューナを選択します。

この操作で、データの転送先デバイスが デジタル CS チューナに設定され、dest フィールドにデジタル CS チューナの ID が表示されます。また、Connection インジケータが黒色に変わります。

7. D-VHS デジタル・レコーダの Play ボタンを押します。

8. 1394 TS Setup のコントロール・ウィンドウで、MPEG Get ボタンをクリックします。

この操作で、TS インタフェースに TS データが取り込まれ、ASI OUT コネクタから ASI 信号が出力されます。このとき、Mpeg2 インジケータの表示が黒色に変わります。

9. MPEG アナライザのアプリケーションを起動します。

10. ディスプレイ上に、取り込まれた TS データが表示されていることを確認します (図 2-5 参照)。

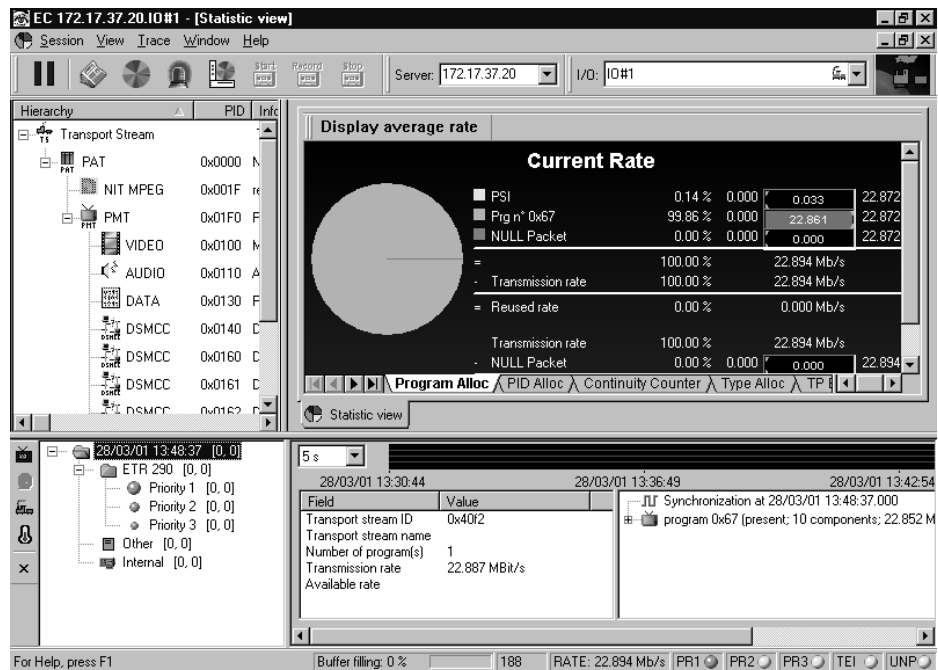


図 2-5 : MPEG アナライザに表示された TS データ

付 録

付録 A 仕様

表 A-1 ～ 表 A-5 に、650-A839-50 型 IEEE 1394 TS インタフェースの仕様を示します。また、表 A-6 に、TS インタフェースが準拠する規格を示します。

仕様条件

付録 A に記載されている電気特性は、次の条件のもとで有効です。

- 表 A-5 の環境特性に記載されている条件を満足している。
- 電源投入後、20 分以上のウォームアップがなされている。

電気特性

表 A-1：IEEE 1394 インタフェース

項目	規格／特性	備考
準拠するスタンダード		IEEE Std 1394-1995 IEEE Standard for High Performance serial Bus
コネクタ数	3	6 ピン
シリアル・インタフェース速度	S-200	

表 A-2：ASI 入／出力¹

項目	規格／特性	備考
準拠するスタンダード		EN 50083-9 AnnexB
コネクタ・タイプ	BNC	
インピーダンス	75 Ω	
TS レート	最大 20 Mbps	
振幅	800 mV ± 10 %	
リターン・ロス	< 15 dB	5 ～ 270 MHz

1) ASI 入力は、ファームウェア・バージョン 1.0 ではサポートしていません。

表 A-3：AC 電源

項目	規格／特性	備考
定格電圧		100 ～ 240 VAC
電圧範囲		90 ～ 250 VAC
周波数範囲		48 ～ 63 Hz
最大電力		50 VA
最大電流		0.3 A

機械特性

表 A-4 : 機械特性

項目	説明
質量	約 2.2 kg
外形寸法	
高さ	43.4 mm
幅	206.2 mm
奥行	320 mm

環境特性

表 A-5 : 環境特性

項目	説明
温度	
動作時	+5 ~ +40 °C
非動作時	-20 ~ +60 °C
相対湿度	
動作時	20 ~ 80 % (結露なし) 最大湿球温度 29.4 °C
非動作時	5 ~ 90 % (結露なし) 最大湿球温度 40.0 °C
高度	
動作時	約 3.0 km まで 高度が約 1.5 km を超える場合は、使用可能な最高温度が 300 m につき 1 °C 下がる。
非動作時	約 15 km まで
振動	
動作時	2.646 m/s ² {0.27 Grms}、5 ~ 500 Hz (3 軸、10 分間)
非動作時	22.344 m/s ² {2.28 Grms}、5 ~ 500 Hz (3 軸、10 分間)
衝撃	
非動作時	490 m/s ² {50 G}、ハーフ・サイン、持続時間 11 ms の衝撃 各軸方向に 3 回、合計 18 回

規格と承認

表 A-6 : 規格と承認

項目	説明								
安全性	次の規格に準拠しています。 UL3111-1 CAN/CSA C22.2 No.1010.1 EN 61010-1/A2 : 1995								
過電圧カテゴリ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>カテゴリ</th> <th>例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CAT III</td> <td>直接分電盤から電力を取り込む機器の一次側および分岐部からコンセントまでの部分。このカテゴリの例としては、固定設備に永久的に接続される産業機器などがある。</td> </tr> <tr> <td>CAT II</td> <td>コンセントに接続する電源コード付き機器の一次側の部分。このカテゴリの例としては、コード接続型機器や携帯用機器などがある。</td> </tr> <tr> <td>CAT I</td> <td>コンセントから電源変圧器を経由した二次回路の部分。このカテゴリの例としては、通信機器の信号レベル、機器の二次回路およびバッテリー駆動機器がある。</td> </tr> </tbody> </table>	カテゴリ	例	CAT III	直接分電盤から電力を取り込む機器の一次側および分岐部からコンセントまでの部分。このカテゴリの例としては、固定設備に永久的に接続される産業機器などがある。	CAT II	コンセントに接続する電源コード付き機器の一次側の部分。このカテゴリの例としては、コード接続型機器や携帯用機器などがある。	CAT I	コンセントから電源変圧器を経由した二次回路の部分。このカテゴリの例としては、通信機器の信号レベル、機器の二次回路およびバッテリー駆動機器がある。
カテゴリ	例								
CAT III	直接分電盤から電力を取り込む機器の一次側および分岐部からコンセントまでの部分。このカテゴリの例としては、固定設備に永久的に接続される産業機器などがある。								
CAT II	コンセントに接続する電源コード付き機器の一次側の部分。このカテゴリの例としては、コード接続型機器や携帯用機器などがある。								
CAT I	コンセントから電源変圧器を経由した二次回路の部分。このカテゴリの例としては、通信機器の信号レベル、機器の二次回路およびバッテリー駆動機器がある。								
汚染度	2 導電性の汚染物質が周囲にある環境では使用しないこと。								
IEC における分類	機器の種類 : 計測器 過電圧カテゴリ : CAT II (IEC 61010-1, Annex J により定義) 汚染度 : 2 (IEC 61010-1 により定義) クラス I 機器 : 接地を必要とする機器 (IEC 61010-1, Annex H により定義)								

付録 B その他

付録 B では、TS インタフェースの再梱包の手順とクリーニングの方法について説明します。

再梱包

納入時の梱包材料を保存しておく、本機器を移転などのため遠距離輸送を行う場合、そのまま使用することができます。これらの梱包材料以外のもので再梱包する場合は、次の手順に従ってください。

1. 125 kg の試験強度を持つダンボール箱で、内側の各辺が本機器の各辺の長さより 15 cm 以上長いものを用意します。
2. 表面を保護するためにポリエチレン・シートで本機器を覆います。
3. カートンと機器の隙間(各面で約 7 cm)に、ウレタンフォームなどの緩衝材をきつく詰めてクッションにします。
4. ダンボール箱の蓋を梱包用のテープまたは工業用のホチキスで固定します。

クリーニング

次に、本機器のクリーニング方法について説明します。



警告：感電の恐れがありますので、機器のクリーニングを行う際には、必ず、電源ケーブルをコンセントから外してください。また、機器内部に水などが入るのを防ぐため、湿らせた布または綿棒などを使用してください。

1. 柔らかい布で、キャビネットの表面に付いているほこりを取り除きます。
2. 水で薄めた中性洗剤を染み込ませたやわらかい布で、よごれを拭き取ります。研磨材が含まれているクリーナーは使用しないでください。

索引
保証規定
お問い合わせ
その他

索引

数字

- 1394 TS Setup, 2-2
 - コントロール・ウィンドウ, 2-2
- 1394 TS Setup, ショートカットの作成, 1-4
- 1394 TS Setup, 動作環境, 1-3
- 1394 TS Setup のインストール, 1-3

A

- ASI IN コネクタ, 2-2
- ASI OUT コネクタ, 2-2

C

- Connection インジケータ, 2-4

D

- dest フィールド, 2-4
- Destination プルダウン・メニュー, 2-3

E

- Exit ボタン, 2-3

F

- File プルダウン・メニュー, 2-3

G

- Get Node ボタン, 2-3

I

- IEEE 1394 コネクタ, 2-2

M

- Mpeg Get ボタン, 2-3
- Mpeg2 インジケータ, 2-4

N

- Node List, 2-3

P

- Port プルダウン・メニュー, 2-3
- POWER インジケータ, 2-1

R

- Reset ボタン, 2-3
- RS232C コネクタ, 2-2

S

- source フィールド, 2-4
- Source プルダウン・メニュー, 2-3
- Stop ボタン, 2-3

あ

- アクセサリ, スタンダード, 1-2
- 安全性規格, A-3

か

- 環境特性, A-2

き

- 機械特性, A-2
- 規格と承認, A-3
- 機器の設置, 1-2

く

- クリーニング, B-1

さ

再梱包, B-1

し

仕様, A-1

環境特性, A-2

機械特性, A-2

電気特性, A-1

初期検査, 1-2

ち

チュートリアル, 2-4

て

電気特性, A-1

電源コード・コネクタ, 2-2

電源の接続, 1-2

の

ノード・リスト, 2-3

ふ

フロント・パネル, 2-1

り

リア・パネル, 2-1

保証規定

保証期間(納入後 1 年間)内に通常取り扱いによって生じた故障は無料で修理します。

1. 取扱説明書、本体ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状況で保証期間内に故障した場合には、販売店または当社に修理をご依頼下されば無料で修理いたします。なお、この保証の対象は製品本体に限られます。
2. 転居、譲り受け、ご贈答品などの場合で販売店に修理をご依頼できない場合には、当社にお問い合わせください。
3. 保証期間内でも次の事項は有料となります。
 - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害、当社および当社指定の技術員以外により修理、改造などから生じた故障および損傷の修理
 - 当社指定以外の電源(電圧・周波数)使用または外部電源の以上により故障および損傷の修理
 - 移動時の落下などによる故障および損傷の修理
 - 火災、地震、風水害、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷の修理
 - 消耗品、付属品などの消耗による交換
 - 出張修理(ただし故障した製品の配送料金は、当社負担)
4. 本製品の故障またはその使用によって生じた直接または間接の損害について、当社はその責任を負いません。
5. この規定は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
 - この保証規定は本書に明示された条件により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 - ソフトウェアは、本保証の対象外です。
 - 保証期間経過後の修理は有料となります。詳しくは、販売店または当社までお問い合わせください。

お問い合わせ

製品についてのご相談・ご質問につきましては、下記までお問い合わせください。

お客様コールセンター

TEL 03-6714-3010  FAX 0120-046-011

東京都港区港南 2-15-2 品川インターシティ B 棟 6F 〒108-6106

電話受付時間/9:00~12:00・13:00~19:00 月曜~金曜(休祝日を除く)

E-Mail: ccc.jp@tektronix.com

URL: <http://www.tektronix.co.jp>

修理・校正につきましては、お買い求めの販売店または下記サービス受付センターまでお問い合わせください。

(ご連絡の際には、型名、故障状況を簡単にお知らせください)

サービス受付センター

 TEL 0120-74-1046 FAX 0550-89-8268

静岡県御殿場市神場 143-1 〒412-0047

電話受付時間/9:00~12:00・13:00~19:00 月曜~金曜(休祝日を除く)

ユーザ・マニュアル
650-A839-50
IEEE 1394 TS インタフェース
(P/N 070-A821-50)

- 不許複製
- 2002年10月 初版発行